

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2003-515569(P2003-515569A)

【公表日】平成15年5月7日(2003.5.7)

【出願番号】特願2001-541535(P2001-541535)

【国際特許分類】

A 61 K 39/39 (2006.01)

【F I】

A 61 K 39/39

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月4日(2007.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 相当する野生型インターロイキン-1(IL-1)に比べてヒトに対する毒性が減弱したインターロイキン-1(IL-1)のムテインを含む、対象における免疫応答を修飾するための組成物。

【請求項2】 前記IL-1はIL-1である、請求項1記載の組成物。

【請求項3】 前記IL-1は成熟IL-1である、請求項1記載の組成物。

【請求項4】 前記IL-1はヒトIL-1である、請求項1記載の組成物。

【請求項5】 前記IL-1の陽性に荷電した残基は他の17種の天然アミノ酸いずれかで置換されている、請求項1記載の組成物。

【請求項6】 前記陽性に荷電した残基はアルギニンまたはリジンである、請求項5記載の組成物。

【請求項7】 前記IL-1は成熟ヒトIL-1であり、前記陽性に荷電した残基は位置127におけるアルギニンである、請求項6記載の組成物。

【請求項8】 ワクチン抗原に対する対象の免疫応答を修飾するため、前記ワクチン抗原と同時または連続的に組み合わせて投与されるための組成物であって、毒性の減弱したインターロイキン-1(IL-1)ムテインを含む、上記組成物。

【請求項9】 前記IL-1はIL-1である、請求項8記載の組成物。

【請求項10】 前記IL-1は成熟IL-1である、請求項8記載の組成物。

【請求項11】 前記IL-1はヒトIL-1である、請求項8記載の組成物。

【請求項12】 前記IL-1の陽性に荷電した残基は他の17種の天然アミノ酸いずれかで置換されている、請求項8記載の組成物。

【請求項13】 前記陽性に荷電した残基はアルギニンまたはリジンである、請求項12記載の組成物。

【請求項14】 前記IL-1は成熟ヒトIL-1であり、前記陽性に荷電した残基は位置127におけるアルギニンである、請求項13記載の組成物。

【請求項15】 前記ワクチン抗原は、タンパク質、ペプチド、ホルモンおよび糖タンパク質からなる群から選択される、請求項8記載の組成物。

【請求項16】 前記ワクチン抗原は、ウイルス抗原、カビ抗原、寄生虫抗原、細菌抗原、アレルゲン、自己免疫関連抗原および腫瘍関連抗原からなる群から選択される、請求項8記載の組成物。

【請求項17】 粘膜内、筋肉内および皮下からなる群から選択される方法で投与さ

れるための、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 18】 医薬的に許容されるビヒクルをさらに含む、請求項 8 記載の組成物

。

【請求項 19】 前記対象は脊椎動物である、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 20】 前記対象はヒトである、請求項 8 記載の組成物。